

SOFAS 社会的職業的機能評定尺度

Social and Occupational Functioning Assessment Scale

社会的職業的機能を、優れた機能からひどく低下した機能に至る1つの連続体のなかで検討せよ。機能の低下には、精神的な障害によるものだけでなく、身体的な制限によるものも含めること。精神的および身体的な健康の問題による直接的な結果のみ機能の低下として評価する。機会の欠如や他の環境的制限の効果は考慮しないこと。

コード(注:適切な場合、中間の値のコードを用いよ。例えば、45、68、72 など)

100-91:	広範囲の活動にわたる最高の機能。
90-81:	すべての領域で十分に機能し、職業的にも社会的にも役割を果たしている。
80-71:	社会的、職業的、または学校における機能にごくわずかな障害以上のものがない(例:たまに対人関係上の不和、一時的に学業で遅れをとる)
70-61:	社会的、職業的、または学校における機能にいくらかの困難があるが、全般的には、機能は良好であって、有意義な対人関係もいくらか存在する。
60-51:	社会的、職業的、または学校における機能に中等度の困難(例:友達がほとんどいない、仲間や同僚との不和)
50-41:	社会的、職業的、または学校における機能に重大な欠陥(例:友達がいない、仕事を続けることができない)。
40-31:	仕事や学校、家族関係などのいくつかの面で粗大な欠陥(例:抑うつ的な男が友人を避け、家族を放置、仕事をすることができない。子供がしばしば年下の子供を殴り、家庭では反抗的であり、学校では落第・退学をしそうである)。
30-21:	ほとんどすべての面で機能することができない(例:一日中床に就いていて、仕事や家庭や友達がいない)。
20-11:	ときには最低限の身の清潔維持ができず、独立して機能することができない。
10-1:	最低限の身の清潔維持が持続的に不可能。自己または他者を傷つけることなしに機能することができない。または、外部からのかなりの支持(例:看護と監督)なしに機能することができない。
0:	情報不十分

アメリカ精神医学会『DSM-IV 精神障害の診断と統計マニュアル』医学書院。
(訳語を一部変更しています。)